

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌(暫定版)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大通西19丁目マンション新築工事	階数	地下1F、地上13F
建設地	札幌市中央区大通西19丁目1-326	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域、60m高度地	平均居住人員	132人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2015年2月20日
敷地面積	677 m <sup>2</sup>	作成者	小山内
建築面積	340 m <sup>2</sup>	確認日	2015年2月21日
延床面積	3,317 m <sup>2</sup>	確認者	軍司



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE1.4**

★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C:★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆:100%超 ☆☆:100% ☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	104%
③上記+②以外の	104%
④上記+	104%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア= 3.5**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.9

光・視覚環境	3.5
温熱環境	4.4
空気質環境	3.7
その他	3.7

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6

機能性	4.3
耐用性	3.1
対応性	3.2

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.1
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0

地球温暖化	2.7
地域環境	3.1
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 西18丁目と円山の入口に位置した十字路口にシンボルとなる建物をコンセプトに検討した。配色については廻りの建物に溶け込むよう白とアースカラーを主体とした。		注) 上記の4つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>W (Global Warming) 省エネルギー・省資源</b> 注) 「W (Global Warming) : 省エネルギー・省資源」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 効率の優れた潜熱回収型給湯設備の使用など、省エネルギー効果が期待できる設備を採用している。「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の基準を満たした断熱性能を確保しています。	<b>G (Green) 緑化</b> 注) 「G (Green) : 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 「札幌市緑の保全と創出に関する条例」を採用し基準を十分に満たしています。	<b>S (Snow) 雪処理</b> 注) 「S (Snow) : 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 雪対策として敷地内車路、通路にロードヒーティングを取り入れ敷地外へ雪を出さないように配慮しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される